



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

## 2017年(平成29年)1月度 理事会議事録

【日時】2017年1月21日(土) 9:30 開始 - 12:15 終了

【場所】JSPE 溜池事務所 および スカイプ

【出席者】事務所 7名 スカイプ 9名 計 16名

(事務所) 川村、渋谷、森山、山浦、鈴木、出家、峯松

(スカイプ) 阪井、横山、小口、森口、寺田、村瀬、植村監事、竹政監事、西久保会員(オブザーバー)

【欠席者】三野、柴山

【審議開始準備】

- ・ 議事進行者、書記、議事確認者を議長より指名 書記:出家、承認者:川村、阪井、森山
- ・ 前回までの理事会からの宿題事項確認  
⇒なし

【審議事項】(審議希望事項と提議者・部会名を記載のこと)

### 1. 会員数推移(会員:小口) … 資料 01

11月度理事会後 PE 179名 準PE 65名 FE 83名 AF 26名 ST 5名 合計 358名

今理事会時点 PE183名 準PE67名 FE84名 AF28名 ST6名 合計 368名

特記事項: 11月末時点で年会費2年以上入金が確認できない方は、会員向けメール配信を一時停止した。

### 2. 会員会費管理クラウドシステム導入検討(特命:峯松) … 資料 02,03,04

シクミネットを当会の会員会費管理クラウドシステムとして導入する場合の具体的な課題を会員、会計、広報部会も交えて検討した。その検討結果としてシクミネットに対して発した質問12項目とそれに対するシクミネットからの回答を資料02に示す。またシクミネットを導入する場合の委託契約書雛形を資料03に示す。シクミネット導入により当会の会員会費管理業務がどのように整流化されるかを視覚化した図を資料04に示す。

資料02にある通り、シクミネット導入時の当会業務上の課題として会員番号体系を変えざるを得ないこと、ログインパスワードの管理がシクミネット側に移行することなどがある。導入のメリットとしては、会員が会費を納付しやすくなる、会員部会理事の負担軽減等があると思われる。導入の可否、および導入の場合の今後の段取り等について関係役員の検討、提案をお願いする。

⇒ シクミネット上で形式的な会員本登録が完了してしまう問題については、シクミネットのアドレスを非公開として、まず会員部会に入会希望を連絡させ、会長承認後に入会希望者にシクミネットのアクセス方法を連絡すること等により、今までとほぼ同様の運用も可能。(峯松)

⇒ シクミネット上での新規会員登録時、JSPE マガジンの新規入会原稿記載内容を入力できないか。それにより JSPE マガジンの新規会員紹介寄稿割合が大幅増となり、広報部会の手間削減になる。(出家) ⇒ 新入会員の中には会費を払った上に、投稿も強制されるのかと拒否感を覚える人もいるので、マガジン投稿可否程度を入会時に宣言してもらおうのがよいのでは(川村)



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

⇒ シクミネット導入により、会員にとって会費払込みの手間が減らせるのか。また海外からの直接振込みも可能となるのか（森口）⇒ クレジットカード決済やコンビニ支払いも可能となり会員にとって支払いの自由度が増える。海外金融機関等からの直接決済可否については、ケースバイケースのようであり今後シクミネット側からの情報収集を試みる（峯松）

⇒ 資料02に現れる種々課題があるものの、会員対応業務効率化のメリットは見込めるので導入する方向で更に峯松理事リードで検討を進めて欲しい。ただし、会員番号体系を変えるなど会員への十分な事前説明も必要であるので、シクミネット導入の可否を今年6月の総会の審議事項に加えることとしたい。（川村会長）

⇒ 総会審議事項に加えることは良い。但し、その中では理事作業軽減のメリットだけでなく、会員のメリットを前面に出すべきである。（植村監事）

3. 会計業務税理士委嘱検討（会計：渋谷）・・・資料 05,06,06-1,07

紺野税理士への業務委嘱契約案を資料05のとおり起草し、当会事務局および紺野税理士との間では合意が得られた。これを受け、当会内の会計理事、各役員および紺野税理士との役割分担および会計処理業務全体の業務フロー等を規定した委嘱詳細を資料06(様式案は資料06-1)のとおり起草したので、会員部会等関係部会の検討、提案をお願いする。できれば、この理事会後に紺野税理士との正式契約手続きに進みたい。資料07は、この委嘱詳細案に関する会長と会計部会間でのQ&Aである。

会員部会が推進中のシラバス英訳支援活動関連収入、支出については、資料06-1中の「付表3 勘定科目表」中に示したような勘定科目(収入は調査研究事業収益、支出は諸謝金など)として扱うこととしたい。収入の科目を寄付金や機関紙発行事業収益とするなども考えたが、シンプルに調査研究事業収益として扱うこととしたい。ただし、会員同士の支援事業であるということを明確にし、課税事業扱いとならないよう関係役員は配慮願う。

⇒ 資料06「JSPE 会計業務委嘱内容詳細」を理事会細則として追加し日々の会計報告業務に試験適用する。会計理事業務が忙しくなる4月1日から、紺野税理士に参画頂けるよう、3月末に契約する方向で渋谷理事にリード願う。なお、紺野税理士との次回面談には、会計報告の頻度が多い教育理事も同席して欲しい(川村会長)

4. ミャンマー人エンジニア交流に関する GL 社対応（特命：峯松（渉外：三野））・・・資料 08,09

12月2日に、GL(グローバルリンク)社にて在日ミャンマー人エンジニアとJSPEとの交流可能性について意見交換を行った。議事録を資料08に、GL社からの提案書を資料09に示す。

ミャンマー人エンジニア、テクニシャンがどのような要望をJSPEに対して持っているのかを探る、ミャンマー人エンジニア、テクニシャンとのミーティングを実施する方向で話が進んでいるが、教育、企画部会等交えて具体化していきたい。

⇒ 資料09は、在ミャンマー協会とJSPEとが直接交流することになっているなど、JSPEへの過度な期待があることを懸念する。GL社と2回目の懇談を2月にも予定とのことであるが、まず先方から受領した提案書に対して、JSPEの現在の立ち位置を文書で回答し、あらためて先方の反応を見極めるようにしてほしい。(川村会長/渋谷理事)

5. 渉外関連諸案件（渉外：横山）・・・資料 10

現時点で渉外部会に対応中の諸案件を資料10にまとめた。次の検討事項がある。

- 7月NSPEアトランタ総会 参加希望者の有無



#### 特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

⇒ 森山理事が参加希望。川村会長は不参加。来月迄に理事の希望を募り、以降は会員募集を行う。

- 6月 JSPE 総会への NSPE ベアヘーレン会長来日参加意向への対応

⇒ 家族帯同の有無等によって対応が異なるため、必要に応じ、理事がアテンドする。

- JSPE 総会での基調講演者候補、招待者候補と接触中

⇒ 早稲田大学の栗原教授を内定し、謝礼等具体的内容について詰めていく。

- SAME、JABEE と今後どのように交流していくか

⇒ SAMEは平日のみ、JSPEは週末、休日のみとすれ違いとなっている。今後はES等で対応を検討。(川村会長)

⇒ JABEE との間では 8 月の国際委員会出席以降目立った動きはないが、取組中のシラバス英訳活動で得られた知見を JABEE とも共有するなどの腹案がある。ミャンマーとの交流についても、東南アジア諸国での活動を展開している JABEE と何らか共同作業ができるかもしれない。(川村会長)

#### 6. 次年度 CPD セミナー開催予定(企画: 阪井、教育: 森山) … 資料 11

2017 年度の CPD セミナー、鬼金(おにきん)セミナー、エンジニアサロン開催予定カレンダーを資料 11 のようにまとめた。来年度も 技術セミナー、エンジニアズサロン、鬼金セミナーをそれぞれほぼ隔月で開催する計画としている。他行事とのバッティングが無いが、他に予定の行事あるか等、レビュー願う。

また、来年 1 月の CPD セミナーが通算 300 回目となる見込みにつき、関東・関西共同の記念イベント企画を検討している。今年 PMBOK Guide(プロジェクトマネジメントの世界標準本)の 4 年に 1 度の改訂版発行年でもあり、改定内容の調査解説活動を行うことも考えられる。

#### 7. 役員改選手続きの確認 (会長: 川村) … 資料 12,13

今年は役員改選年にあたるため、資料 12 に新役員募集文案および関連細則抜粋をまとめた。また資料 13 は歴代役員リストを更新したもの。今後、会員への役員募集案内(2 月)、新役員顔ぶれ内定(3 月理事会)が必要となるので、各役員は内容を確認願う。

⇒ 2 名の理事より今期限りで退任の意思表示があった。

#### 【報告事項】

##### 1. 謝金支払者に関する税務手続き報告 (会計: 渋谷)

2016 年中の当会謝金(税務上の報酬)支払実績をまとめた法定調書及び合計表を作成し、麻布税務署へ提出した。また、それに基づく支払調書を各謝金支払対象者あてに発行し郵送した。年間報酬総額が 5 万円を超えると、その方の個人番号(マイナンバー)を法定調書に記入する必要があるが、2016 年は該当者が 1 名あったため、郵送にてマイナンバーを入手し税務署へ提出した。年間報酬総額が 5 万円未満の方については、マイナンバー入手は行わず、支払調書上の個人番号欄は空白としている。

##### 2. シラバス事前評価/英訳支援活動の状況 (会員: 小口)

シラバス事前評価は、現在 1 件 取組みが終わり依頼者へ回答済。

シラバス英訳支援は、現在 4 件 取組中でうち 2 件は実作業を終えている(1 件は JABEE 課程卒のため英訳不要。もう 1 件は英訳完了し NCEES への提出時期を連絡待ち。1 件は 3 月中旬 英訳完了予定。残り 1 件の英訳完了時期は未定。さらに新規 2 件の申込みの連絡が来ている。現状は着手後 2 ヶ月/件にて処理しているが、お待ちいただく状況となっている。



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

今後英訳支援の申し込みがさらに増えることが予想され、英訳作業者の増員等も必要となるが、会計処理面での留意事項を踏まえ、この活動を通じた国内技術者教育国際化への貢献という観点を見失わないようにしていく。

英訳支援の成果物の品質を役員の方にも見ていただくため、サーバー内に保管する。専門用語集も成果物として活用する。

会員サイトに掲載のシラバス英訳支援案内文は、一部修正の要あるため、広報部会に修正版を提出済み。

⇒ 成果物としての英訳文品質が今後とも落ちないように努めて欲しい(竹政監事) ⇒ 現状は担当理事・会員の努力により高い品質の英訳文ができている。ただ、品質低下はいつでも起こり得るので、英訳成果文を有志役員にも随時レビュー頂くようお願いしたい。(川村)

3. CPD セミナー活動状況 (企画:阪井、教育:森山)

1/28 東京技術セミナー、2/15 エンジニアサロン、2/18 鬼金セミナーを開催予定でそれぞれ準備中。

⇒3/25にPE登録説明会を予定する。理事はできるだけ参加願う。この会合の一部を英語セッションとし、GL社、ミャンマーエンジニアに声をかけることも検討願う。(川村会長)

4. 博多会員交流会 実施予定 (会員:鈴木)

1/29 博多にて九州地区会員との交流会を実施予定。

⇒ 天候等のリスク、コスト、移動時間等を考慮し、関西在住の小口理事に博多へ出向いてもらうこととして欲しい。これを機会に、九州地区内での会員間交流が立ち上がるようにしたい。(川村会長)

5. 名古屋会員交流会 実施予定 (村瀬)

2月第1か第2土曜に名古屋にて東海地区会員との交流会を実施予定。4月頃に名古屋での行事開催を検討中。

6. その他

広報部会から、HPアクセス数の増加の報告および次号 JSPE マガジンの寄稿協力依頼があった。

【次回理事会予定】 3月18日(土) 9:30～



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

【議事承認印】

承認	川村 武也	
承認	阪井 敦	
承認	森山 亮	
書記	出家 克則	